

# 第2回 光駅拠点整備デザイン会議

光市 建設部都市政策課

令和元年12月17日

# 議題 1

現状と課題について

# 基本計画の構成と本日の議題について

## 【意見聴取・合意形成の場や機会】

### 光駅利用者ワークショップ<sup>o</sup>

- ・ 光駅利用者を対象に3回実施
- ・ 第1回 (9/28)
- ・ 第2回 (10/4)
- ・ 第3回 (10/26)

### アドバイザー

(学術的支援)

### 光駅拠点整備デザイン会議

(意見・提言・助言等)

### パブリック コメント

(意見・提言)

### 市議会 (議決)

(提案)

(助言等)

## 【基本計画の構成】

### 現状と課題

#### ◆ 利用実態調査

駅や虹ヶ丘跨線橋の利用者数などの利用実態や駐車場、駐輪場、バス、タクシー等の公共交通機関、送迎車両や通過交通などの交通実態を調査。

議題 1

### 基本的な方向性

○ 駅前広場、南北自由通路、駅舎の整備の方向性

議題 2

### 整備計画図

### 概算工事費

### 整備スケジュール

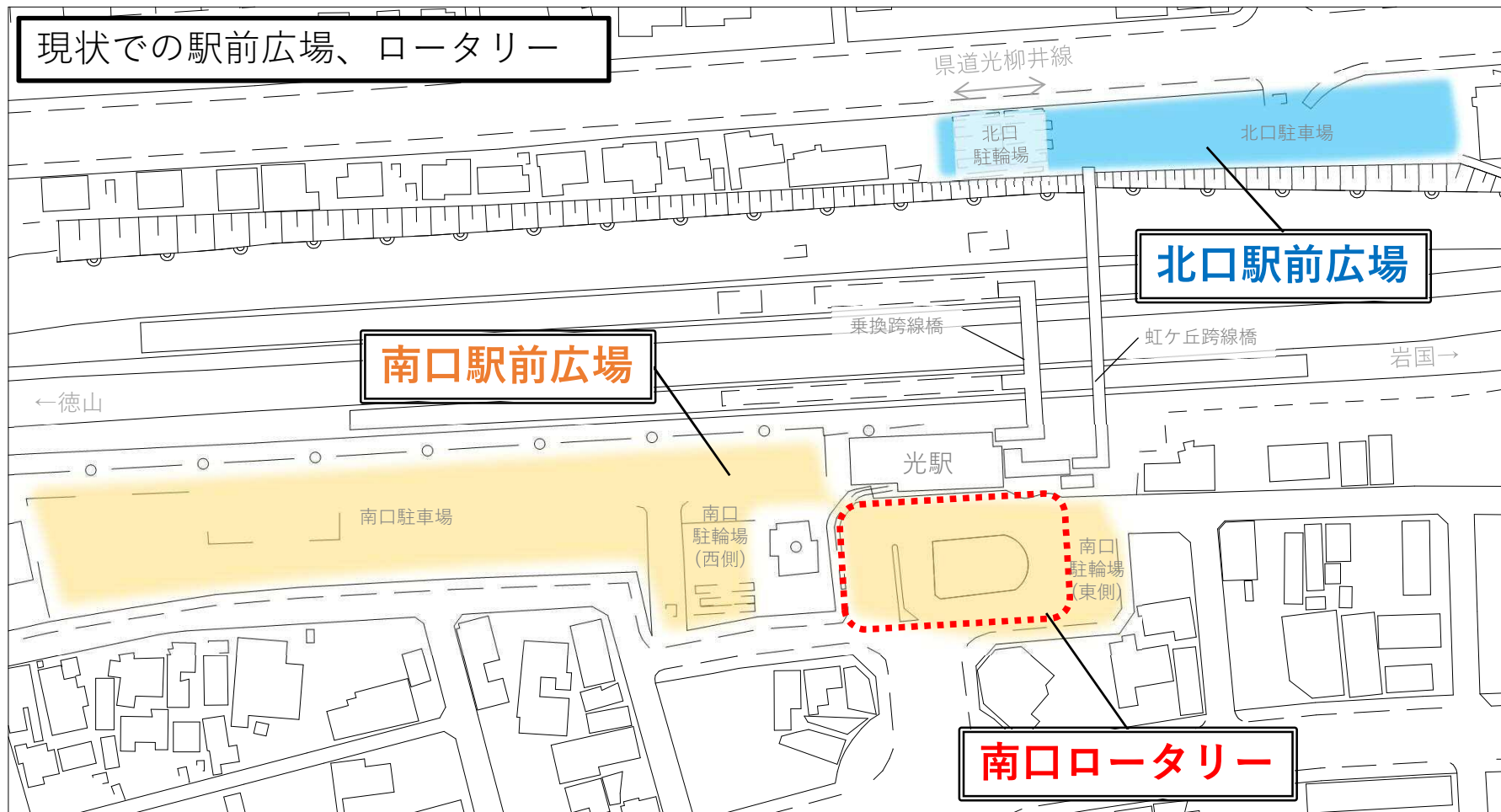
### 基本計画素案

### 基本計画案

□ …… 本日(第2回)の議題箇所

# 定義

ロータリー：自動車などが一方向に環状に通行するエリア、円形道路の交差点  
駅前広場：ロータリーに加え、駐車場、駐輪場などを含むエリア



# 光駅利用者ワークショップ

## 《ワークショップ概要》

市民や来光者の利便性を高めるため、光駅利用者の視点を取り入れた計画づくりを行っていくとともに、外部検討体制の充実により合意形成を推進することを目的とし、光駅利用者を対象としたワークショップを実施しました。

「これがウワサの未来カメラ～光駅前の未来を激写せよ～」というテーマのもと、その場所の未来が撮影できる未来カメラを使って光駅前を撮影するという設定でグループワークを行い、各グループから駅近接エリアの未来像について、具体的かつ現実的な提案が行われました。

**実施日：**令和元年9月28日（土）、10月4日（金）、10月26日（土）

**参加者：**全13人（1回目8人、2回目11人、3回目10人）

### 内容

- 1回目：光駅拠点整備に向けた取り組みについて、現状の把握（現地での写真撮影）
- 2回目：現状と課題の整理、整備のコンセプト、必要な機能・施設と配置図の作成
- 3回目：未来写真（絵）の作成、最終発表

光駅前のまちづくり  
光駅利用者ワークショップ

これがウワサの未来カメラ～光駅前の未来を激写せよ～



テクノロジーの発展はとどまるところを知らない。  
最近、未来を写せるカメラが発明されたいし。  
何でも、そのカメラを使えば、その場所の未来が撮影できるらしい。  
さあ、このカメラを使って光駅前の未来を激写しよう。



# 光駅利用者ワークショップ

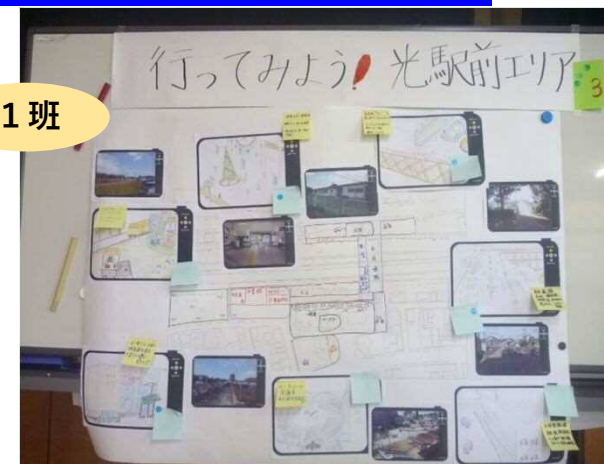
班	現 状		特に取り組むべきと思う 課 題
	良い点	悪い点	
1班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静か。</li> <li>・ 電車とバスの時間がある。</li> <li>・ 浜辺が近い。</li> <li>・ 駐車場が広い。</li> <li>・ コンビニが近くにあるので便利。</li> <li>・ 未活用の土地がある。</li> <li>・ 交番が近くにあるので安心。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北側から駅のホームが遠い。</li> <li>・ 屋根がない駐輪場がある。</li> <li>・ 観光案内所がない。</li> <li>・ 遊び場がない。</li> <li>・ 自転車置き場が小さい。</li> <li>・ 送迎車が多くて危ない。</li> <li>・ 虹ヶ丘跨線橋のスロープの勾配が急すぎる。</li> <li>・ 虹ヶ丘跨線橋にエレベーターがない。</li> <li>・ 南口ロータリーの通り抜け車両が多くて危ない。</li> <li>・ 自由通路は階段があるのでお年寄りの方には大変そう。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ バリアフリー化</li> <li>▶ 利用しやすい駐輪場</li> <li>▶ 滞在しやすい環境づくり</li> <li>▶ 駅の利便性向上</li> <li>▶ 人も車も安全・安心な駅前づくり</li> </ul>
2班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ のどかな所。</li> <li>・ 海が近い。</li> <li>・ 花火大会会場と距離が近い。</li> <li>・ 交番が近くにある。</li> <li>・ コンビニが近い。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北側から駅が利用しにくい。</li> <li>・ 車道の区別が分かりにくい。</li> <li>・ 北口の路上駐車が多い。</li> <li>・ 南口ロータリー内の駐車が多い。</li> <li>・ 南口ロータリー前に駐車場がほしい。</li> <li>・ ロータリーの通り抜け車両が多い。</li> <li>・ 南口ロータリーの走り方が分かりづらい。</li> <li>・ 虹ヶ丘跨線橋に屋根がなく幅が狭い。エレベーターがない。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 快適空間、利便性の向上</li> <li>▶ P(駐車、駐輪)問題</li> <li>▶ 賑わいの創出</li> <li>▶ 安全性の向上</li> <li>▶ goodポイント (良い点を伸ばしていく)</li> </ul>
3班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームを出た時の景観が綺麗。</li> <li>・ 有人駅。</li> <li>・ ホームに屋根がある。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもを預けられる場所がない。</li> <li>・ 子どもが遊べるスペースがない。</li> <li>・ 駅周辺に店舗がない。</li> <li>・ トイレが古い。</li> <li>・ 屋根がない駐輪場がある。</li> <li>・ 駐車場が管理人が不在のときがある。</li> <li>・ 南口バス乗場の屋根が狭い。</li> <li>・ 駅周辺に時間を潰せるところがない。</li> <li>・ 北口側の送迎車の停車場所がない。</li> <li>・ 虹ヶ丘跨線橋、駅構内がバリアフリーに対応していない。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ バリアフリー化</li> <li>▶ 賑わいの創出</li> <li>▶ 駅内の利便性</li> <li>▶ 学生の使い勝手</li> <li>▶ 車で来にくい光駅</li> </ul>



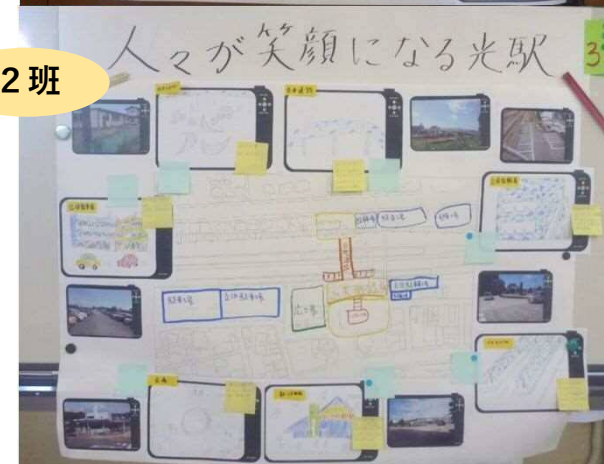
# 光駅利用者ワークショップ

班	提案事項	
1班	北口駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶バス、タクシー乗り場のあるロータリーの設置</li> <li>▶花火が見られる展望デッキ(ウッドデッキ)の設置 など</li> </ul>
	自由通路駅舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶駅舎の橋上化 ▶改札周辺に観光案内所を設置</li> <li>▶開放感のある幅の広い自由通路</li> <li>▶自由通路内に待ち合わせや癒しの空間として、時計台や花壇の設置 など</li> </ul>
	南口駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶カフェ、図書館、保育園の設置</li> <li>▶保育園に隣接して、イベントやフリーマーケットが開催できる広い芝生広場を設置</li> <li>▶ロータリ内に一般車乗降場の設置 ▶幅の広い歩行者通路</li> <li>▶自由通路と直結した立体駐輪場 など</li> </ul>
2班	北口駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ロータリーを設置し、送迎場所に屋根を設ける など</li> </ul>
	自由通路駅舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶屋根や壁がある南北自由通路</li> <li>▶駅舎の3階に図書館、2階にカフェを設置</li> <li>▶夜、ライトできれいに見える駅舎 など</li> </ul>
	南口駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶車両が多く駐車することができる立体駐車場</li> <li>▶立体駐輪場を設置し、分散している駐輪場を一箇所にまとめる</li> <li>▶待ち合い時間や子どもと遊べる憩いの広場の設置</li> <li>▶自由通路直結のバスターミナル など</li> </ul>
3班	北口駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶3世代が交流できる体験ブース(施設)を設置</li> <li>▶バス、タクシー乗り場のあるロータリーの設置</li> <li>▶駐車場に無人料金所の設置 など</li> </ul>
	自由通路駅舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶上から見ると貝殻のような駅舎のデザイン</li> <li>▶駅舎の一部をスタンドグラスとし、市民の手でオブジェを作る など</li> </ul>
	南口駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶立体駐車場の設置 ▶駐輪場にレンタサイクルを設置</li> <li>▶イベントやフリーマーケットが開催できる交流広場 など</li> </ul>

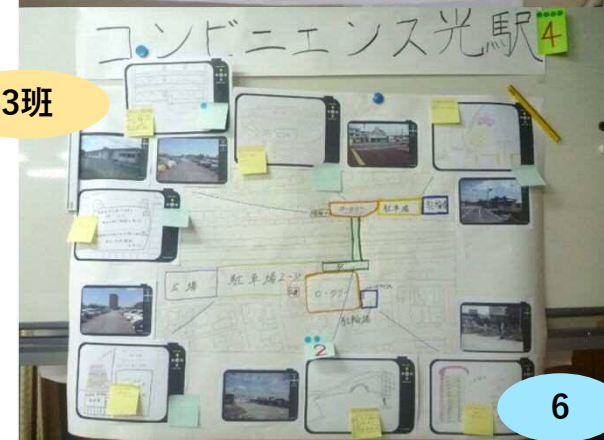
1班



2班



3班



# 現状のまとめ

(△良い点、▼悪い点 ※文末の〈W〉はワークショップでの意見が含まれるもの)

施設	内容
JR光駅設備	<p>△構内に一定の待ち合いスペースがある。</p> <p>△虹をあしらった駅舎により虹ヶ浜海岸とのつながりを感じさせる場所となっている。</p> <p>▼乗換跨線橋は老朽化しており、上下移動の手段は階段のみで、高齢者や障害者などの移動の障害となっている。〈W〉</p> <p>▼駅舎（改札）は南側のため、北側からの利用者は一度虹ヶ丘跨線橋を渡ってから改札を通る必要がある。〈W〉</p> <p>▼改札がIC化に対応しておらず不便。〈W〉</p> <p>▼ホームと電車の乗り口に段差があり、電車への乗降に対し高齢者や障害者などの移動に障害となっている。〈W〉</p> <p>▼トイレが老朽化しており、洋式便座や多機能トイレがない。〈W〉</p> <p>▼駅の待ち合いが狭い。〈W〉</p> <p>▼案内誘導サインや情報の発信が不十分</p> <p>▼売店がない。</p>
鉄道南北の連絡施設	<p>△駅に近接して鉄道の南北地域を接続しており、駅利用者をはじめ、多くの人に利用されている。</p> <p>▼虹ヶ丘跨線橋は老朽化が進行している。</p> <p>▼北側は勾配が急なスロープ、南側は階段のみで高齢者や障害者などの移動の障害となっている。〈W〉</p> <p>▼一定の通行量があるものの、屋根が設置されておらず、有効幅員も2.5mと広くない。〈W〉</p>
南口駅前広場	<p>ロータリー</p> <p>△電車とバスの発着時刻が合っている。〈W〉</p> <p>△タクシーの溜まり場は十分なスペースが確保されている。</p> <p>▼ロータリー内に流入する自動車のうち80%以上が通過交通であり、特にロータリー東側の市道島田虹ヶ浜線から国道188号へ通り抜ける車両が多い。〈W〉</p> <p>▼ロータリー内に一般車両乗降場がないため、一般車両が送迎等のためにロータリー内の空きスペースへ停車するため混雑する。〈W〉</p> <p>▼送迎車への乗降のため、歩行者の車道横断が生じている。</p> <p>▼ロータリー内の自動車での通行方法が分かりにくい。〈W〉</p> <p>▼バス停にベンチや屋根（一部）がない。〈W〉</p>
	<p>駐車場</p> <p>△南口駐車場が広く十分な収容台数が確保されている。〈W〉</p> <p>△南口駐車場には障害者等専用駐車マスが確保されている。</p> <p>△南口駐車場は主に通勤で光駅を利用するパーク＆ライド用の駐車場として利用されている。</p> <p>▼南口駐車場は入り口が交差点に近く安全性に問題がある。</p> <p>▼南口駐車場は夜間など管理人不在の時間帯がある。〈W〉</p>
	<p>駐輪場</p> <p>▼南口駐輪場（東側）と南口駐輪場（西側）の収容台数が不足しており混雑した状況となっている。〈W〉</p> <p>▼南口駐輪場（西側）の一部にしか屋根が設置されていない。〈W〉</p> <p>▼駅が市域の西端に位置し東側からの利用者が多い。一方で駐輪場が駅の西側にあるため、多くの自転車が駅前広場と国道188号の交差点部を東西方向に通過している。</p>
	<p>その他</p> <p>△松の植栽により、駅前で海岸の雰囲気を味わえる場所となっている。〈W〉</p> <p>▼交通空間が主体で交流スペースなどが少なく、“にぎわい”が不足している。〈W〉</p>



# 現状のまとめ

(△良い点、▼悪い点 ※文末の〈W〉はワークショップでの意見が含まれるもの)

施設		内容
北口駅前広場	駐車場	▼北口駐車場に駐車マスの幅が狭く利用しづらいほか、送迎車用の優先スペースが分かりづらい。〈W〉 ▼北口駐車場は夜間など管理人不在の時間帯がある。〈W〉
	駐輪場	△北口駐輪場は屋根が整備されている。 △北口駐輪場は必要な収容台数が十分確保されている。
	その他	△西側に活用可能な光市所有の土地がある。〈W〉 ▼ロータリーがなく、明確なタクシー乗場がないほか、バス停位置が分散しており、乗り換えが不便。 ▼バス停にベンチや屋根がない。〈W〉 ▼一般車両乗降場がないため虹ヶ丘森ヶ峠線の歩道沿いに停車し、送迎を行う一般車両が見られるが、将来的に瀬戸風線の開通により交通量の増加が見込まれるため、安全性などに問題がある。〈W〉
その他	△海が近い。〈W〉 △コンビニが近い。〈W〉 △光駅前交番が立地しており、光駅を昼夜問わず安心して利用できる。〈W〉 ▼観光案内の機能が不足している。〈W〉 ▼滞在空間が不足している。〈W〉 ▼飲食店やカフェなどのお店が少ない。〈W〉 ▼子どもを預ける場所や子どもが遊べるスペースがない。〈W〉	

# 駅近接エリアの課題

上位計画や施設ごとの現況・諸元、利用実態調査といった現状の整理と、光駅利用者ワークショップ等での意見などを踏まえ、駅近接エリアを整備していくにあたっての課題を整理します。

## ❖ 一体的な安全性の確保 ❖

鉄道線路を跨ぎ、虹ヶ丘地区と虹ヶ浜地区をつなぐ「虹ヶ丘跨線橋」は、北側が勾配の急なスロープ、南側が階段となっており、また、駅構内の乗換跨線橋についても、上下移動のための施設が階段のみであり、円滑な移動の障害となっています。さらに、駅に求められる案内誘導サインや必要な情報の表示なども、“誰にも優しい”という観点から、改善が必要な状況です。

交通安全の観点からは、駅前広場に一般車両乗降場がないため、車両と歩行者の交通が交錯していることや、通過交通の流入による南口ロータリー内の混雑により、利用者に対する安全性が十分に確保されていません。また、防犯の観点から、利用者の安全・安心の拠り所になる交番については、引き続き、機能を発揮してもらう必要があります。

## ❖ 交通結節点としての機能の向上 ❖

光駅は、鉄道とバスなどの乗り継ぎが行われる本市の主要な交通結節点として重要な役割を担っています。

しかしながら、駅前広場においてバス停が分散していることや、南口ロータリー内に送迎車両の乗降場がなく、また、北側からの駅利用者は、大きく迂回する必要があることや、十分な待ち合い環境が整っていないことなど、交通結節点として求められる機能が不足している状況です。

このため、すべての交通手段が利用しやすい動線に配慮した配置や、十分な南口ロータリーの規模の確保、待合環境の改善など、利用環境の向上を図る必要があります。

また、駐車場や駐輪場についても、収容台数の不足や安全性に対する課題、不便な配置や設備、運営形態も含め、利用環境の向上を図る必要があります。

## ❖ 機能充実による利便性の向上 ❖

光駅は、通勤・通学をはじめ、旅行やレジャー、観光などのため、多くの人が利用する場所です。しかしながら、「虹ヶ丘跨線橋」や駅舎をはじめ、駅近接エリアにおける各施設は、老朽化とともに、利用者の減少などを背景とした機能の撤退等も進み、これが利用者の一層の低下を招くという悪循環に陥っています。また、西日本屈指の海水浴場に近接しながら、特段の観光案内機能もない状況です。

このため、時代のニーズを踏まえつつ、通行しにくい「南北自由通路」の改善を図るとともに、トイレや商業施設などの利便施設の導入・配置が求められます。

また、「光市立地適正化計画」において、都市機能誘導施設に位置付けた「観光案内施設」のあり方も踏まえつつ、本地域における観光案内機能について検討を行う必要があります。

# 駅近接エリアの課題

## ❖ 自然を活かした空間の確保 ❖

南口駅前広場では現在も、松の植栽や虹をあしらった駅舎、重要無形文化財「彫金」保持者(人間国宝)山本晃氏の作品である「輝翔の詩」など、海をはじめとした自然を近くに感じることができる空間となっています。

「光駅周辺地区拠点整備基本構想」の策定時に実施した市民アンケート調査でも、光駅周辺地区に望む将来の姿として、「海岸との調和を意識した癒しと安らぎにあふれる地区」へのニーズが高くなっているとともに、ワークショップにおいても海が近いことを強みとした整備を望む声が挙がっています。

このため、虹ヶ浜海岸を意識した、本市の「まちの顔」にふさわしいシンボリックな空間の創出が求められます。

また、景観形成の観点からは、都市機能としての各種施設と自然環境との調和を強く意識した整備が必要です。

さらに、こうした都市と自然が調和する環境の中で、人々が交流できる空間の創出が求められます。



## ❖ ふさわしい規模と実現性の確保 ❖

本市の財政状況は、少子高齢化に伴う社会保障費の増大や老朽化するインフラ整備への対応、平成30年7月豪雨災害からの復旧と災害に強いまちづくり等々から、厳しい財政運営を余儀なくされており、限りある財源を市民や光駅利用者のために最も効果的かつ効果的に活用する必要があります。

また、光駅の整備にあたっては、単に都会化を求めるのではなく、“光市らしさ”に重点を置いた身の丈にあった整備を求める声も多くあり、財源の確保策と併せて、本市、本駅にふさわしい整備の内容や規模について、現実性や予算上の制約なども鑑みつつ、定めていく必要があります。

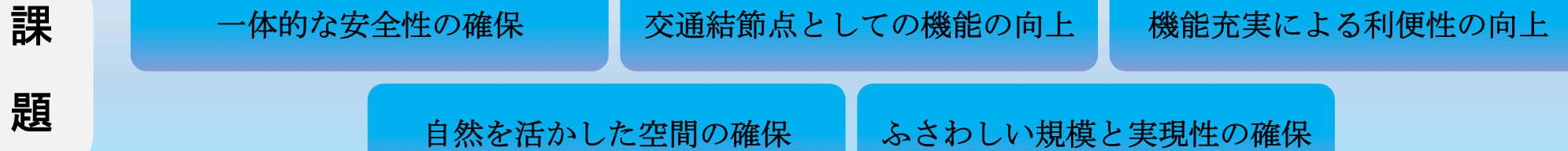
さらに、行政だけでなく民間事業者やまちづくり関係団体など、多様な主体のノウハウや企画力、資金などについても、積極的に活用していく必要があります。

# 議題 2

基本的な方向性について

# 基本的な方向性（整備コンセプト(案)）

駅近接エリアの課題を踏まえ、エリア全体の整備コンセプトを整理します。



## 整備コンセプト

### (仮) 人、交通、自然をつなぐ、つながる光駅

交通の結節点として、また交流の場として、人々がゆきかい、人々がつどい、人々がつながっていくとともに、虹ヶ浜海岸とのつながりを感じられるような自然と調和した空間を実現します。

# 基本的な方向性（整備の視点と方向性(案)）

整備コンセプトを具現化に導く、整備の「視点」と「方向性」を整理します。

「視点」は、整備全体にわたって根底となる目の付け所（縦軸）であり、「方向性」は、整備コンセプトの実現に向けた整備の考え方（横軸）として位置付けます。

**整備の視点（縦軸）**：整備全体にわたって根底となる目の付け所

## 海を意識した空間デザイン

光駅が有する大きな特徴は「海」です。本市の「まちの顔」にふさわしい魅力を構成する重要な要素は、白砂青松の虹ヶ浜海岸の雰囲気醸し出すことであり、海とのつながりを意識した空間デザインに配慮します。

## 低コストな手法の選択

自由通路や駅前広場などの整備には、その規模や内容、財源など、整備の手法に多種多様な選択肢があり、選択によっては整備費用も大きく変わります。本市の財政状況を踏まえながら、可能な限り有利な財源を確保するとともに、低コストな整備手法を選択します。



# 基本的な方向性（整備の視点と方向性(案)）

## 整備の方向性（横軸）：整備コンセプトの実現に向けた整備の考え方

誰にも安全でわかりやすい  
安心環境づくり

高齢者、障害者等を含め、誰もが安全に移動でき、適切で分かりやすい案内や誘導など、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた安心して利用できる環境整備を検討します。  
また、安全に十分考慮した交通動線の設定や、南口ロータリー内への通過交通の流入対策を検討します。さらに、山口県との連携のもと、交番機能を維持します。

機能的で利用しやすい  
円滑交通環境づくり

公共交通の結節機能の再配置と充実や、待合環境の充実など、必要な機能を十分に賄える適正な駅前広場の規模を確保することにより、機能的で利用しやすく、円滑に交通と交通とを結ぶ、ゆとりある交通環境を検討します。  
また、駐車場、駐輪場についても、利用しやすく安全な場所に再配置を行い、適正な管理を見据えた整備を検討します。

便利、快適、スマートに  
利便環境づくり

駅南北地区を快適につなぐため、南北自由通路の充実を図るとともに、トイレ等既存利便施設の機能充実に加え、商業機能等の新たな利便施設の導入と適正配置を検討します。  
また、情報化の進展に的確に対応し、誰もが利用しやすく、時代に即したスマートな利用環境を検討します。

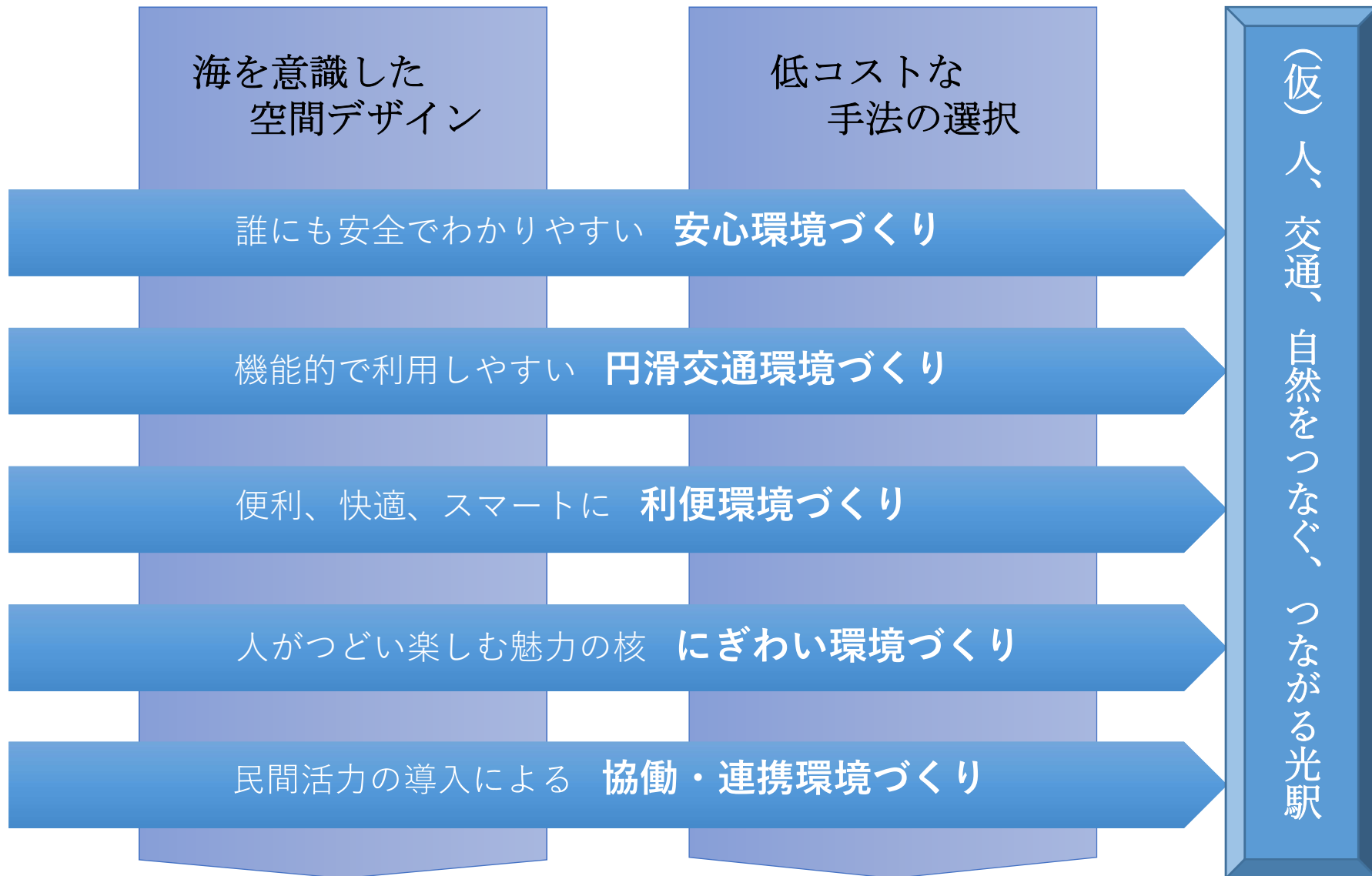
人がつどい楽しむ魅力の核  
にぎわい環境づくり

子どもからお年寄りまで、誰もが癒しや安らぎを享受でき、交流を楽しめる交流スペースの確保を検討します。  
また、新たな施設等の整備にあたっては、虹ヶ浜海岸に近接する強みを活かしながら、光駅を取り巻く美しい景観と調和し、人々が自然に集まり、時間を過ごしたくなるデザインや意匠に配慮します。

民間活力の導入による  
協働・連携環境づくり

新たな機能や施設等の導入・整備においては、その後の管理・運営も見据えながら、民間事業者の提案を受け、そのノウハウや資金の活用について検討します。  
また、イベント広場としても活用できる空間の創出など、まちづくり団体等が活動、活躍できる場の確保を検討します。

# 基本的な方向性（整備の視点と方向性(案)）



# 基本的な方向性（整備内容(案)）

「整備の方向性」を踏まえ、現時点で想定する施設の整備内容を検討します。

## 南北自由通路の更新

- ▶改修の費用対効果や将来性、利便性、バリアフリーへの対応から新たな整備。
- ▶利便性向上のため、設備の充実。

## 南口駅前広場の再配置・拡張

- ▶南口駅前広場へのバス乗降場、タクシー乗場、タクシー溜まり場、駐車場、駐輪場といった現状機能の確保と、一般車乗降場などの新たな機能の導入。
- ▶市民等の交流の場として活用できる交流スペースの整備。
- ▶新たな機能の導入などにとまない、現行の南口駅前広場を拡張していくことも視野に入れた検討。
- ▶南口ロータリー東側（市道島田虹ヶ浜線）から流入する通過交通対策の検討。
- ▶駐車場の駐車場法に基づいた再整備と、出入庫管理の改善。
- ▶駐輪場の集約、適切な収容台数の確保と、利用環境の向上。

## 北口駅前広場の再配置・拡張

- ▶北口駅前広場内へのバスなどの車両の乗り入れが可能となるような整備。
- ▶北口駅前広場内の機能として、バス乗降場、タクシー乗場、タクシー溜まり場、一般車乗降場などの新たな導入の検討と、駐車場、駐輪場の再配置の検討。
- ▶新たな機能の導入などにとまない、現行の北口駅前広場を拡張していくことも視野に入れた検討。
- ▶駐車場の駐車場法に基づいた再整備と、出入庫管理の改善。

## 交流空間、サービス機能施設の整備

- ▶市民等の交流の場として活用できる交流スペースの整備。
- ▶公衆トイレなどの公共的なサービス施設の整備の検討。

## にぎわい創出施設の導入

- ▶にぎわいの創出を図るため、民間活力による、にぎわい創出施設の導入の検討。

# 基本的な方向性（整備内容(案)）

## 【北口駅前広場】

- 施設の再配置を検討
- 北口駅前広場を拡張していくことも視野に入れながら検討
- 車両の乗り入れが可能となるような整備
- バス乗降場、タクシー乗場、タクシー溜まり場、一般車乗降場などの新たな導入の検討

## 【北口駐車場】

- 再整備、出入庫管理の改善
- 再配置を検討

## 【北口駐輪場】

- 再配置を検討

## 【南北自由通路】

- 新たな整備
- 設備の充実

民間活力による、にぎわい創出施設の導入の検討

ロータリー東側（市道島田虹ヶ浜線）から流入する通過交通対策の検討

## 【南口駐車場】

- 再整備、出入庫管理の改善

## 【南口駅前広場】

- 施設の再配置を検討
- 南口駅前広場を拡張していくことも視野に入れながら検討
- 交流スペースの整備
- 公共的なサービス施設の整備の検討

## 【南口駐輪場】

- 集約
- 適切な収容台数の確保
- 利用環境の向上

## 【南口ロータリー】

- 現状機能の確保
- 一般車乗降場などの新たな機能の導入

# 基本的な方向性(案)

## 課題

### 一体的な安全性の確保

- ▶円滑な移動への対応
- ▶案内誘導サインや情報表示の改善
- ▶利用者の交通安全の確保
- ▶交番機能の確保

### 交通結節点としての機能向上

- ▶交通動線に配慮した配置
- ▶十分な南口ロータリーの規模確保
- ▶待合環境の改善
- ▶駐車場・駐輪場の利用環境向上

### 機能の充実による利便性向上

- ▶南北自由通路機能の改善
- ▶便利施設の導入・配置
- ▶観光案内機能の検討

### 自然を活かした空間の確保

- ▶シンボリックな空間の創出
- ▶自然環境との調和
- ▶交流を楽しめる空間の創出

### ふさわしい規模と実現性の確保

- ▶財源の効果的・効率的な活用
- ▶ふさわしい整備内容と規模の検討
- ▶多様な主体との協働と連携

## 整備 コンセプト

(仮)人、交通、自然をつなぐ、つながる光駅

## 整備の視点

海を意識した空間デザイン

低コストな手法の選択

## 整備の方向性

誰にも安全でわかりやすい  
安心環境づくり

機能的で利用しやすい  
円滑交通環境づくり

便利、快適、スマートに  
利便利用環境づくり

人がつどい楽しむ魅力の核  
にぎわい環境づくり

民間活力の導入による  
協働・連携環境づくり

## 整備内容(案)

南北自由通路  
の更新

南口駅前広場  
の再配置・拡張

北口駅前広場  
の再配置・拡張

交流空間、サービス  
機能施設の整備

にぎわい創出施設  
の導入



# 基本的な方向性（主要施設の整備の検討）

## 北口駅前広場への車両の乗入の検討

北口駅前広場内にバスなどの車両が乗入れられるように検討を行います。

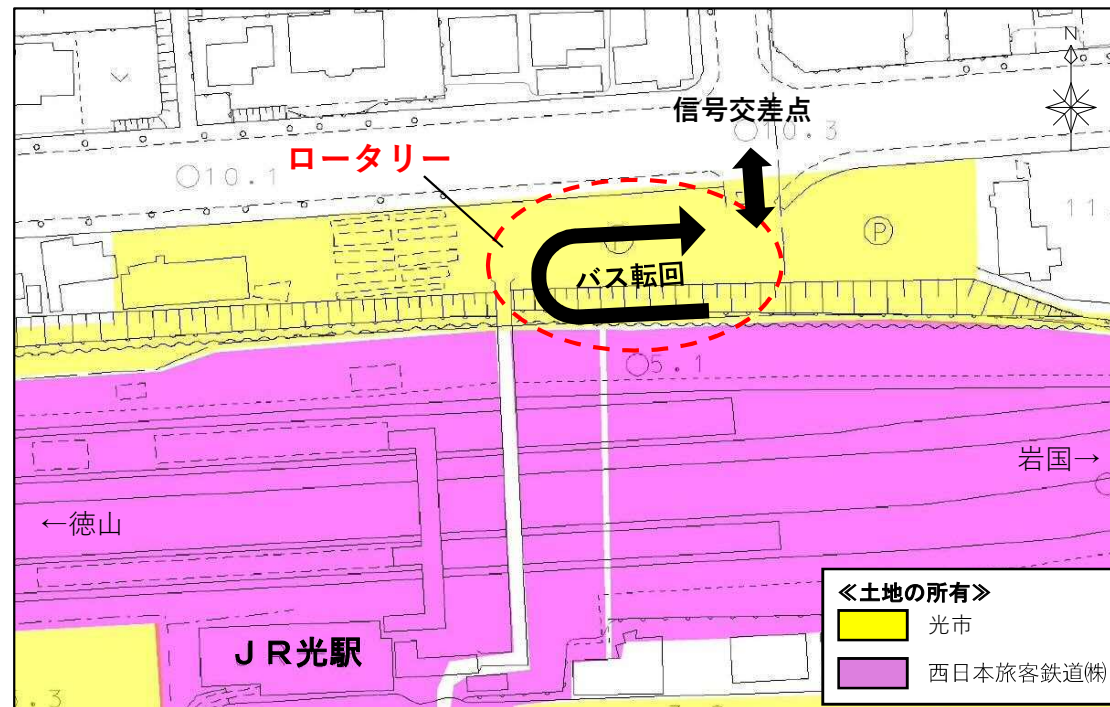
- ▶安全性などの観点から車両の出入口位置を現行の信号交差点部（現行の駐車場出入口）としたロータリーを想定します。
- ▶車両の乗入は、市内で運行している路線バス※を想定します。

※現行運行している大型の路線バスで、道路構造令でいう普通自動車（車長L=12m）に相当するものを想定



- ▶現行の北口駅前広場の用地が、北側の道路用地と南側の鉄道用地に挟まれ、東西に細長い形状となっており、南北方向の幅が狭く、バスが転回できません。
- ▶ロータリーを設置する場合、広場の拡張が必要不可欠となり、スペースの確保が大きな課題となります。

今後、瀬戸風線の開通などにより、前面道路の交通量の増加が見込まれており、安全性や利便性の観点から、北口駅前広場内への車両の乗入れについて、その重要性も増すことから、北口駅前広場内への出入口の位置や形状などについて、関係事業者や関係機関との調整を行いながら、バスなどの車両が進入できるように検討を行います。





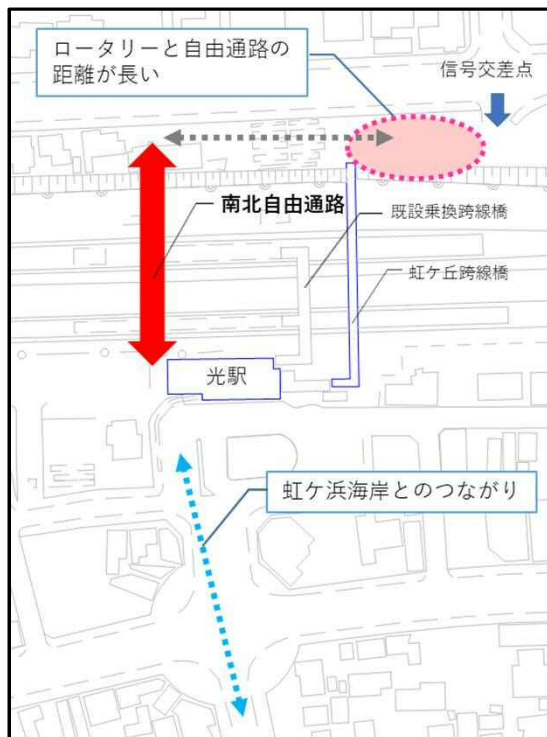
# 基本的な方向性（主要施設の整備の検討）

## 南北自由通路の設置位置の検討

- ▶現行の「虹ヶ丘跨線橋」については、多くの人に利用されている施設であることから、工事中も利用できることを前提に検討を行います。
- ▶北口駅前広場内には、現行の信号交差点部から出入りするロータリーの設置を仮定して検討を行います。

### 《西側に設置》

南北自由通路を西側に設置する場合、北口ロータリーからの位置が離れますが、工事期間中は現行の「乗換跨線橋」および「虹ヶ丘跨線橋」が使用可能になります。さらに、虹ヶ浜海岸とのつながりの観点からは、虹ヶ浜海岸への軸線上に自由通路を設置できるため、虹ヶ浜海岸との一体感や連続感をより演出することができます。



### 《東側に設置》

南北自由通路を現行の「虹ヶ丘跨線橋」がある東側に配置する場合は、北口ロータリーから近い位置に設置することができますが、工事期間中に南北の通行を確保するために仮設の乗換跨線橋を設置する必要があり、多額の費用が必要となります。



上記を踏まえ、南北自由通路は、**西側に設置**することを検討します。

# 基本的な方向性（主要施設の整備の検討）

新たな自由通路と駅舎の形態について、大きく3つの案により比較検討を行っています。

		1案（簡易橋上駅案）	2案（橋上駅案）	3案（両側改札案）
概略図				
		・南北自由通路と駅構内をバリアフリー化		
駅舎の構造等		・自由通路の整備に合わせ、地上に駅舎を設け、その2階部分に改札口を設置	・自由通路の整備に合わせ、線路上空に駅舎を設け、改札口を設置	・自由通路の整備に合わせ、南口と北口にそれぞれ改札口を設置 (乗換跨線橋は設置しない)
エレベーター設置数		・3基(駅構内2基、自由通路1基)	・3基(駅構内2基、自由通路1基)	・2基(駅構内1基、自由通路1基)
駅利用者の動線	北側からの利用	・改札口が2階となるため、上りホーム利用の場合、上下移動が現状よりも少ない	・改札口が2階となるため、上りホーム利用の場合、上下移動が現状よりも少ない	・上りホームへは北口側の改札口を利用するため、上下移動が現状よりも少ない
	南側からの利用	・下りホーム利用の際に、これまで必要なかった階段等の昇降が新たに生じる	・下りホーム利用の際に、これまで必要なかった階段等の昇降が新たに生じる	・上り、下りホームともに現状とほぼ同様な動線となる

※自由通路については、北口駅前広場側は階段とスロープ、南口駅前広場側は階段とエレベーターで昇降することを想定